

社会的養護の子どもたちにアート体験を

特定非営利活動法人 Art for children's SHINE は、社会的養護下で暮らす子どもたちをはじめ、困難な状況の中で生きる子どもたちへ、アート体験を届ける活動を行っている団体で、千葉県、神奈川県、茨城県、東京都などの児童養護施設を中心に活動を行っていますが、メンバーは東京在住者も多く、ここ木更津市の児童養護施設「野の花の家」へは比較的近い2名のスタッフが担当しています。リーダーの藤井玲子さんは臨床美術士の資格を持ち、長年の活動で子どもたちの成長を見守っています。

会場の食堂で準備が始まると、今日は何をやるの？絵具を使うんだ！など興味津々で子どもたちが集まって来ます。取材で訪れた私たちも「新しい先生？」と聞かれるなど、自然に受け入れてもらい、一緒にセッションに参加しました。自由参加の子どもたちは幼児さんから小学校高学年まで10名。中学生になると忙しく参加しなくなるそうですが、部活帰りの男の子がちらっとのぞいたり、久しぶりね！と声がかかったり、活動の歴史が感じられる一幕もありました。

今回の画題は花火です。準備された花火の写真をよく見て、まず、これは何か？見たことあるか？どんな様子か？どんな色か？などスタッフの声掛けに応える形で皆口々に発言していました。

用意された透明のプラ板に金や銀の油性マジックペンで線を描き、その後綿棒を使って好きな色の絵の具で彩色しましたが、毎月の活動なので小さい子も画材の扱いに慣れていて、それぞれ集中して取り組んでいました。

心ゆくまで描いたり塗ったりし終われば、プラ板を裏返して描いた面を下にし、少し大きい黒画用紙に貼って完成。それぞれ壁に作品を貼って記念撮影。全体で1時間程度でセッションは終了しました。どの子も落ち着いて作品に取り組んでいるのが印象的でした。

毎回違った立体や平面の作品を取り入れており、集大成として毎年3月に作品展を開催しています。今年の会場は「Cafe NIGO ギャラリー」(@いすみ市大野 1029-8)にて、3/5~3/24の日程で開催される予定です。組合員の皆さんにもぜひ足を運んでくださいとの事でした。

福祉委員 理事 西原 和代

